

24.3期 第3四半期決算 補足説明資料

2024年2月8日



月島ホールディングス

24.3期 第3四半期決算 連結損益

- 受注高は、水環境事業のJFEエンジニアリング(株)の国内水エンジニアリング事業の統合により、大幅に増加（受注高、受注残高ともに、過去最高）。
- 売上高は、受注済み案件の進捗により、増収。
- 営業利益は、一過性の費用(※)およびJFEエンジニアリング(株)の事業統合費用、販管費増加の影響で、減益
（※期初より想定済の費用・・・持株会社体制への移行、不動産取得税、事業統合費用 想定外の費用・・・不具合対応の合計で約10億円）
- 当期純利益は、上記の影響により、減益

【単位：億円】	23.3期 第3四半期 実績	24.3期 第3四半期 実績	前期比
受注高	831	1,078	+247
受注残高	1,573	2,730	+1,157
売上高	615	690	+75
営業利益	23	9	△14
営業利益率	3.7%	1.3%	△2.4%
経常利益	29	19	△10
親会社株主に 帰属する当期純利益	19	15	△4

24.3期 第3四半期決算 連結損益（受注高、売上高）

サンエコサーマル(株)のセグメントは、
24.3期より水環境事業から産業事業に変更
(数値は23.3期から修正)

受注高

【水環境事業】

JFEエンジニアリング(株)の国内水エンジニアリング事業の統合により、大幅に増加

【産業事業】

大型案件の受注遅れの影響もあり、減少

売上高

【水環境事業】

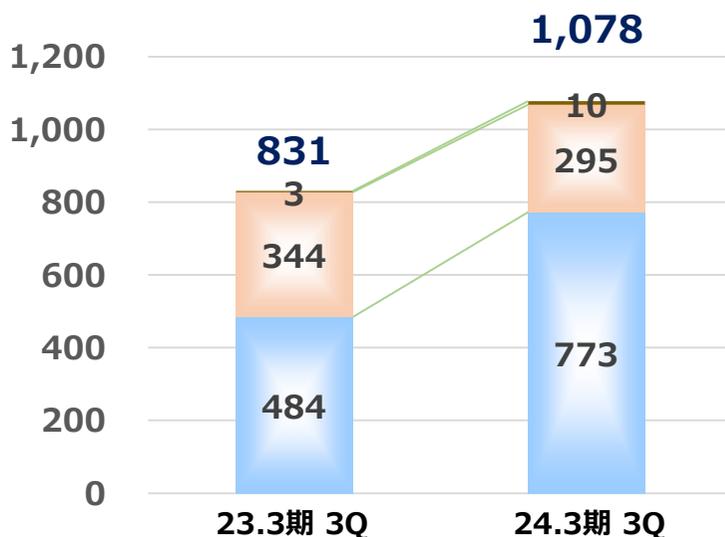
一部案件で別途発注の土木、電気工事の遅れによる当社グループの機械設備工事の遅れはあるものの、受注済み案件の進捗および統合効果により、増収

【産業事業】

受注済み案件が進捗し、増収

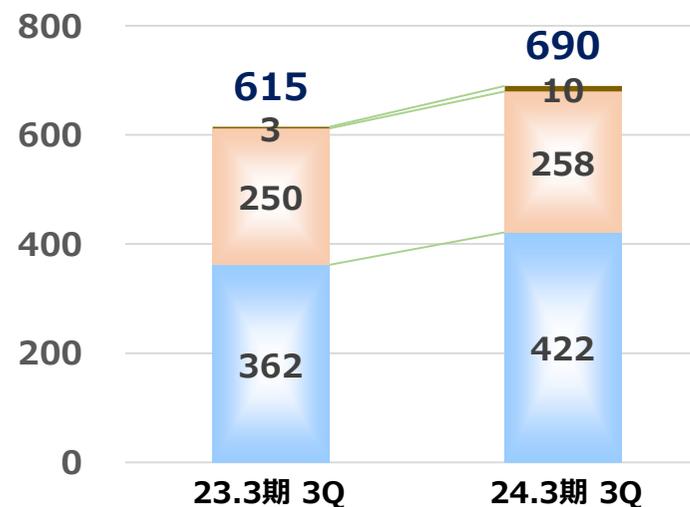
単位：億円

■ 水環境 ■ 産業 ■ その他



その他：物流設備など不動産管理、賃借などに関するセグメント

■ 水環境 ■ 産業 ■ その他



24.3期 第3四半期決算 連結損益（営業利益）

営業利益

【水環境事業】 JFEエンジニアリング(株)の事業統合を含めた増収効果はあるものの、一過性の不具合対応費用および事業統合費用、販管費増加の影響により、減益

【産業事業】 増収も、販管費増加の影響により、減益

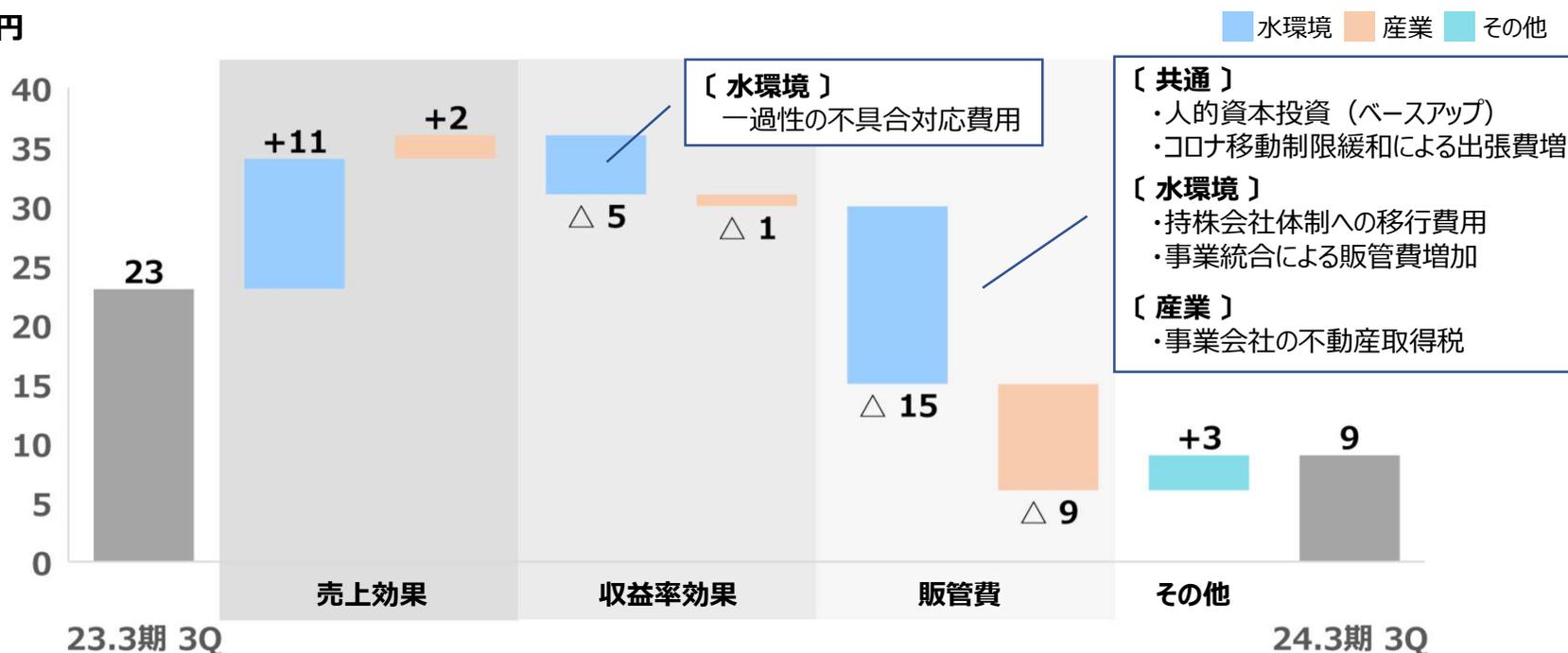
※両事業共に、一過性の持株会社体制への移行費用の影響あり

【その他】 物流施設の不動産取得税の支払があるものの、24.3期よりフリーレント期間が解消し、増益

※営業利益の前期比△14億円の要因のうち、

一過性費用（持株会社体制への移行、不動産取得税、不具合対応費用、事業統合費用）の影響は、約10億円

単位：億円



水環境事業 JFEエンジニアリング(株)との事業統合効果①

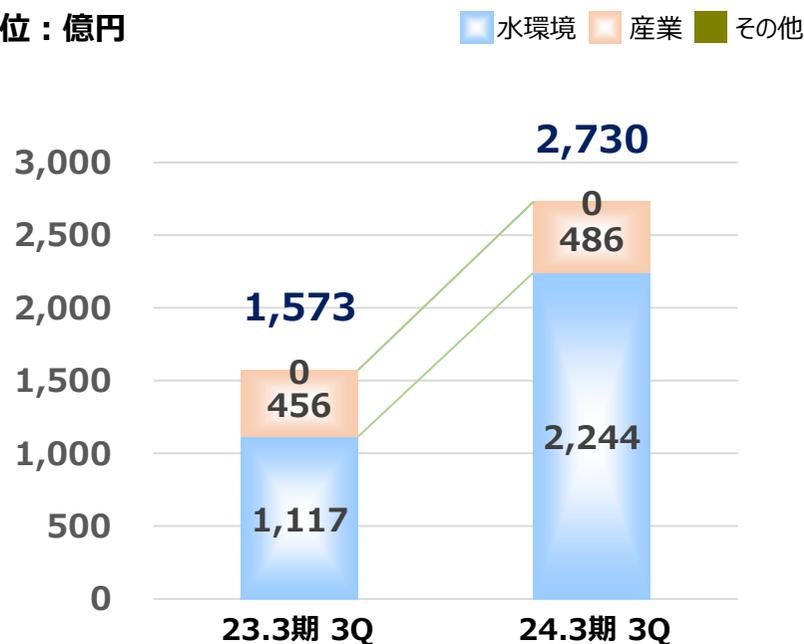
受注残高

【水環境事業】
JFEエンジニアリング(株)の事業統合時の連結受注残高は約2,200億円、両社の比率は出資比率と同様で6:4

【産業事業】
廃液燃焼などの環境関連の受注により増加

水環境事業の受注残高について、EPCは大型案件のリードタイムが3～5年、包括委託やPFI/DBO事業は数年～20年といった長期にわたって売上計上することから、来期の売上高、利益は急激に増加しない。

単位：億円

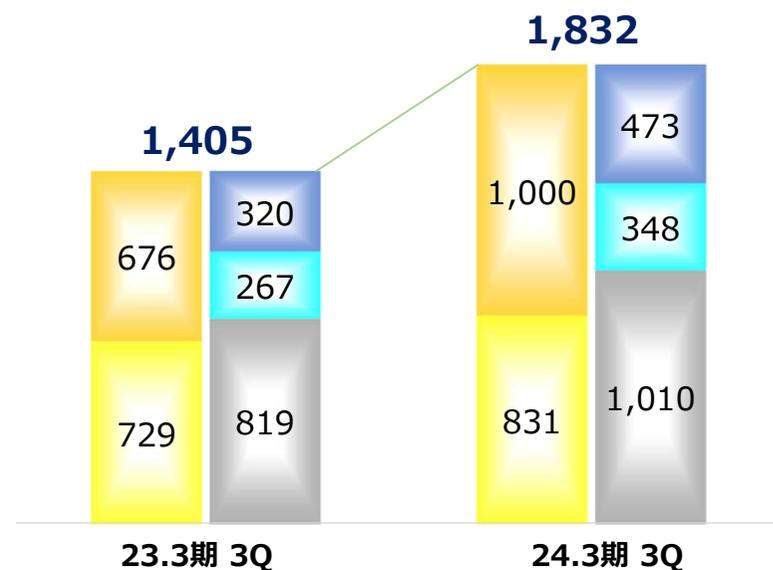


貸借対照表

事業統合により、資産・負債・純資産が増加

- 10月1日付、JFEエンジニアリング(株)から移管による影響
- 流動資産： +244億円
- 固定資産： +68億円
- 流動負債： +68億円
- 固定負債： +86億円

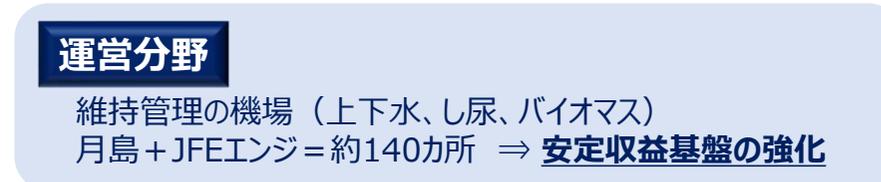
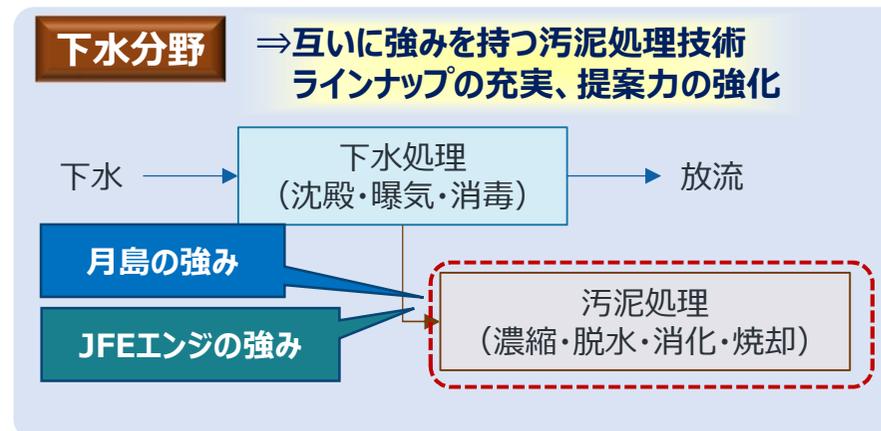
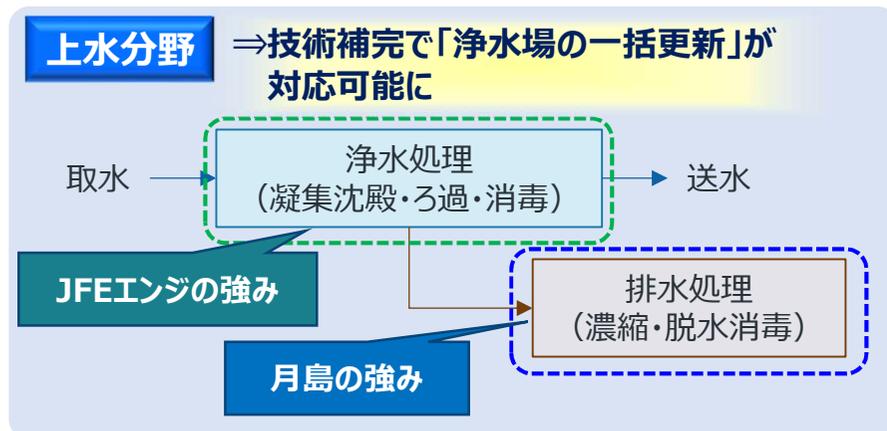
流動資産 固定資産 流動負債 固定負債 純資産



※四捨五入の関係で合計と内訳の計は必ずしも一致しない

水環境事業 JFEエンジニアリング(株)との事業統合効果②

事業統合の効果（分野別）



事業統合効果

■ストックビジネスの拡大

水環境事業の3Qの受注残高は約2,240億円となり、前年同期比で約2倍となった
受注残高のうち、運営分野（運転管理やPFIなどの官民連携事業）が半数以上を占め、ストックビジネスが拡大

■拡大が期待できる官民連携事業への対応

神奈川県企業庁より、「箱根地区水道事業包括委託事業(第3期)※」を受注。官民連携事業においては、新たな枠組みとして「ウォーターPPP」が位置付けられており、本委託はウォーターPPPの枠組みとは異なるものの、類似した先進的な事例
(※浄水施設、配水池、送配管等の施設管理・修繕・更新および上水供給、料金徴収を含む10年間の長期委託業務)

■事業領域の拡大

3Qで三沢市より、し尿処理場の施設更新事業を受注。事業領域が拡大